



「きらりと光るまちの人  
SMILE UP!」

Vol.7 中村 洋 さん  
NAKAMURA HIROSHI

地域研究を専門とする山口東京理科大学講師

フィールドワークを中心として、地域の課題やニーズを、人々の生活や環境など様々な側面から調査し、その成果を地域に還元する研究を行っている。今年3月には山口東京理科大学が進める「地域課題解決研究事業」の一つとして「いきいきスマイルアップ体操！ガイドブック」を製作。コロナ禍でも自宅で運動ができるようにと市地域包括支援センターが考案した「いきいきスマイルアップ体操！」の一部をガイドブックにまとめ、本市の健康増進や高齢化などの課題解決に向けた支援を行っている。

大学卒業後、地球・人間環境フォーラムの研究者として、モンゴルやアフリカで砂漠化への対処に関する国際プロジェクトに従事。特にモンゴルでは、自然災害が遊牧にもたらす影響について調査し技術支援を行った。モンゴルの行政や地域の人々と話し合いを重ね、取り残されている人にも手が届くよう、地域に合った解決策を模索してきた。

理科大では教養課程の地域社会学を担当。「理系の大学でも、研究だけではなく地域と関わりを持つ授業の必要性が増している。倫理面も含め、専門知識をどう使って社会に役立てるかというベースを作る教育を担っていると思っています」。授業では、学生が山陽オートなどの施設に出向き、どうしたら来場者を増やせるか、アンケートや実地調査を行い、分析結果を踏まえて改善策を提案する、というフィールドワークを展開する。それは、技術で社会に貢献するためには、実際に地域で暮らす人々と触れあって人の暮らしや思いを理解することが大切、との考えからだ。大切にしていることは「縁」。これからも山陽小野田市との縁を繋いで地域の発展に貢献できたらと考えている。

Profile・下松市出身。大阪大学工学部応用自然科学科卒業。一般財団法人地球・人間環境フォーラムの研究者として砂漠化に関する調査・研究に従事した後、社会人大学院生として法政大学大学院政策科学研究科修了。2019年より市立山口東京理科大学講師。本市の魅力は、産業や地域の成り立ち、鉄道など積み上げられた層が厚いことと公園が多いこと。「いきいきスマイルアップ体操！ガイドブック」は、市役所や公民館等の窓口で配布するほか、市の健康出前講座で配布している。希望する人は市の地域包括支援センター（☎82-1149）まで。



**えがおがいちばん!!**

★対象：小学校就学前までのお子さん

①お子さんの写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②お子さんの名前(ふりがな)③生年月日④年齢⑤性別⑥親の名前⑦郵便番号⑧住所⑨電話番号⑩15文字程度のコメントを記入した申込書を添えて提出(郵送、E-mailでも可)

〒756-8601 山陽小野田市役所  
シティセールス課広報係 (☎82-1148)

なかの そら 中野 颯良くん(5歳) はる 波 瑠くん(3か月) れい 礼 維 くん(4歳) 3兄弟仲良く大きくなってね!

はしほ ぞうすけ 橋羽 奏祐くん(11か月) ことね 采音ちゃん(3歳) すくすく元気に大きくなーれ♡